

アンケート項目について

1 障害者（障害者を支援する方などを含む）

- 回答者： 障害者本人（本人の代理を含む）
 障害者の家族 その他（支援者など）
- 障害者の住所： 千葉市内 千葉県内（千葉市外の方） 千葉県外
- 障害者の障害種別： 身体障害（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、内部障害など）
 知的障害 精神障害 発達障害 その他（難病など）
- 障害者の年齢： 0～10代 20～30代 40～50代 60歳以上
- ヘルプカードについて：
 今回参加する前から、ヘルプカードを利用している
 今回参加する前から、ヘルプカードを持っているが、利用したことがない
 今回参加する前から、ヘルプカードを知っているが、持っていなかった
 今回参加して、初めてヘルプカードのことを知った
- 合理的配慮の提供を容易にする文字マークを提示した感想：
 配慮や手助けしてほしいことが、すぐに伝わった
 配慮や手助けしてほしいことが、文字マークの提示に加え、説明することで、伝わった
 文字マークを提示しても、なかなか伝わらなかった
- 全国にヘルプカードや文字マークを広めることについて（複数回答可）：
 ヘルプカードを広めてほしい
 合理的配慮の提供を容易にする文字マークを広めてほしい
 広める必要はない

2 協力企業等の従業員

- 業種： 小売 娯楽 金融 宿泊 飲食 運輸（交通） その他
- ヘルプカードについて：
 モデル実施の前から知っていた
 今回のモデル実施で初めて知った
- 合理的配慮の提供を容易にする文字マークが提示された感想：
 文字マークを提示されるだけで、すぐに配慮することができた
 文字マークの提示に加え、説明をされることで、配慮することができた
 文字マークを提示して説明をされても、配慮することができなかった
（理由 ）
 文字マークの提示が無かった
- 個々の支援内容の理解として役に立ったもの（複数回答可）：
 ヘルプカードの裏面に記載された配慮や手助けしてほしいこと
 合理的配慮の提供を容易にする文字マーク
 STEP1の主な合理的配慮の事例
 障害者本人（家族や支援者などを含む）からの説明
 その他（ ）
 特になし
- 合理的配慮を提供しやすくするため、全国にヘルプカードや文字マークなどを広めることについて（複数回答可）：
 ヘルプカードを広めるべきである
 合理的配慮の提供を容易にする文字マークを広めるべきである
 STEP1の主な合理的配慮の事例を広めるべきである
 広める必要はない